

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 577 号	氏名	Tran Thi Nguyen Hoa
学位審査委員	主 査 森田 公一 副 査 西田 教行 副 査 平山 謙二		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は急性胃腸炎の原因として近年感染報告が増加しているノロウイルスについて、特に乳幼児の散発性急性胃腸炎に焦点をあて、原因となった当該ウイルスの遺伝子型の状況を世界規模で明らかにして、ワクチン開発、予防対策に役立てようとするものであり、研究の動機や目的は妥当である。			
2. 研究方法の評価 ノロウイルスの遺伝子解析が広く行われるようになった 2004 年～2012 年に論文報告のあった事例を、独立した 2 つのデータベースから網羅的に検索し、一定の基準を満たした事例から遺伝子情報を抽出した手法は妥当である。また、ノロウイルスの遺伝子型については 2010 年に再定義された分類に統一するため、抽出した塩基配列を独自に再解析し評価した手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価 上記手法による解析により、原因ウイルスの 96% は遺伝子群 GII 型であり、そのうち GII.4 型がカプシド領域で 70%、ポリメラーゼ領域で 60% を占める主要な型であることが明らかになった。ポリメラーゼ領域とカプシド領域のリコンビネーションを解析した結果、その頻度は 26% におよぶことを発見した。さらに継時的な遺伝子型の変異の評価では、小児の散発流行において GII.4 型のウイルスのカプシド領域に変異が発生し繰り返し流行を起こしていることを明らかにした。以上の結果から、今後のワクチン開発に当たっては GII.4 型と、その次に感染頻度のたかい GII.3 型を候補とすることが適切であることが示唆された。			
本研究は世界のノロウイルス対策とワクチン開発に貢献するところ大であり、審査員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			